SOJOサイエンスコンテスト2025

開催の告知と研究発表の募集

開催内容

オンラインおよび対面形式によるポスター発表

特別講演会

日時：令和7年7月26日（土）

9:30～16:20

会場：崇城大学池田キャンパス

主催

崇城大学 ナノ領域研究教育推進委員会（RENS）

共催

日本化学会九州支部（化学への招待）

プログラム（予定） [※ 予告なく変更する可能性があります]

【午前の部】（オンライン形式 会場：Zoom）

9:30～10:00 開会のご挨拶および研究発表に関する諸連絡

10:00～12:00 オンラインポスター発表

（12:00～12:50 午後の部の対面発表ポスター掲示）

【午後の部】（対面形式 会場：池田キャンパスSoLA等）

13:00～13:10 ご挨拶 **小野 長門** 崇城大学学長

13:10～13:40 特別講演（公開セミナー）

丸岡 啓二 特任教授 京都大学大学院薬学研究科
日本化学会会長

13:40～14:00 研究発表に関する諸連絡および発表者準備

14:00～16:00 オンサイトポスター発表

16:00 閉会のご挨拶

16:20 情報交換会および大学施設見学（希望者対象）

1. 中高生による研究・探究活動発表会

中高生が主役となる研究発表会を開催します。発表分野は化学・物理・生物を対象とします。日頃の実験・研究を皆の前で発表してみませんか？（地球科学・天文学なども発表可能です。詳しくはセミナーのHPでご確認下さい）

優秀な発表を行った団体には金賞、銀賞、銅賞（コンペティション部門）、優秀ポスター賞（一般部門）を授与し、表彰します。

- 発表資格：高校生または中学生（ただし、応募は下記に従って担当教員が行なってください）
- 発表形式：すべてポスター形式。コンペティション部門は全て対面で実施しますが、一般部門は対面またはオンライン（Zoom）のどちらで実施するか選択できます。
- コンペティション部門採択件数：コンペティション部門を申し込んだ発表のうち8件程度を採択する予定です。また、審査により採択されなかった発表については一般部門での発表となります。
- コンペティション部門に複数の発表を申し込む高校は、発表に優先順位をつけて応募をしてください（審査の参考資料）。**
- 募集要項：参加希望者は下記登録期間にA4サイズ1ページの発表概要をwebの参加登録よりアップロードしてください。提出された発表概要を審査し、コンペティション部門を選出します。**
- 発表題目、講演申込分類（化学・物理・生物）、高校名、発表者氏名（複数の場合は全員分）を必ず記載してください（上記4項目は「必要事項」）。**

例：金ナノ粒子が切り拓くハイテク分野（化学）君ヶ淵高校 崇城太郎、菜乃花子

- 発表概要には、過去一年間で得られた成果が分かるように記載して下さい。
- 期日までに発表概要が提出されない場合、講演申込分類の記載が無い場合、研究概要がA4サイズ1ページを超えた場合、必要事項の記載が無い場合は、各賞の選考対象から除外致します。

発表登録：2025年6月1日(日)～29日(日) ※発表概要データ提出含む

参加登録：2025年6月1日(日)～7月18日(金) ※参加者全員分必須

<http://www.nano.sojo-u.ac.jp/seminar>

2. 特別講演会「先端科学ウォッチング」

今日、TVのCMやドラマなどでも持続的社會やナノテクノロジー、環境保全、エネルギー問題などが多く取り上げられています。これらの技術は、高校までに学習する化学や生物、物理といった基本的科学の上に成り立っていますが、我々の生活の中でどのように活躍しているのかを実感することはほとんどないというのが実状でしょう。しかし、これらの技術は確実に我々の今日の生活、そして未来を支える技術として身近に存在しています。この特別講演会では、高校生をはじめとした一般の皆様、日本における科学技術の発展や科学分野と社会との関わりを実感していただくことを目的に、国内で重要な役割を担う研究者を講師とお招きして、現在の潮流とこれからの先端研究に対する展望などについてご紹介いただきます。未来の日本を支える若い学生の皆さんには、特に聴いていただきたい内容です。

特別講演会 講師紹介

丸岡 啓二（京都大学大学院薬学研究科 特任教授 日本化学会会長）

豊かで持続的な社會の実現には、それらを可能にするための有用な素材が不可欠です。これらの素材を生み出す「モノづくり」では有機合成化学が重要な基盤技術となります。未来の社會を支えるために、日々新たな有機合成化学技術に関する研究が精力的に進められています。有機合成化学の発展のためには、様々な特長を持つ高性能な触媒の開発が大変重要です。丸岡先生は、新たな分子触媒の創成とそれらを利用した画期的な新方法論の確立を目指して研究を精力的に進められています。そのご業績は「丸岡触媒」などとして広く知られ、これまでに2011年の紫綬褒章をはじめ、国内外の重要な賞を多数受賞されています。今日では、日本化学会の会長もお勤めになられ、日本の科学・化学技術の発展にご尽力されています。

主な受賞歴：1985年 日本化学会進歩賞、2003年 有機合成化学協会賞、2006年 文部科学大臣賞、2007年 日本化学会賞、2010年 中日文化賞、2011年 Arthur C. Cope Scholar Award、2011年 紫綬褒章、Humboldt Research Award、2012年 東レ科学技術賞、2016年 高砂香料国際賞「野依賞」、2018年 日本学士院賞、2021年 化学教育賞、2022年 藤原賞、2023年 Ryoji Noyori ACES Award (Asian Chemical Editorial Society)

講演題目：日本化学会の金の卵育成プログラムについて

講演要旨：日本化学会では以前から化学だいすきクラブや化学グランプリ、国際化学オリンピックへの支援を行い、才能ある小、中高生の発掘に努めている。しかしながら、化学グランプリや国際化学オリンピックで発掘した才能ある若手（いわゆる金の卵）を見出しながら、その後の育成プログラムが用意されていなかった。化学グランプリの成績優秀者を大学で育成するプログラムを新たに作り、それを大津会議（全国から選抜した才能ある博士課程学生の若手道場）に繋げていけば、小学校から大学院博士課程に至るまでシームレスな若手人材育成プログラムが完成する。そのために、金の卵育成プログラム（仮称）を新たに始めたい。

崇城大学が提供する高大連携活動のご案内

高大連携活動 1 連携研究

高校における研究活動の支援と大学研究の更なる充実を目指して、大学と高校が共同して行う研究を提案致します。ご関心をお持ちの皆様はお気軽にお問い合わせ下さい。もちろん、この研究内容で「SOJOサイエンスコンテスト」での発表も可能です。各研究テーマについてはそれぞれ学内の承諾が必要ですので、応募があった場合には大学内にて選考させていただきます。

詳しくは、崇城大学ホームページ(<http://www.sojo-u.ac.jp/>)

→「研究・地域連携」→「地域共創センター」まで

高大連携活動 2 一日体験実験

大学で先端実験を体験してみませんか？崇城大学では大学で行う一日体験実験を用意しております。日頃体験できない実験を、大学でしか触れる機会の無い先端大型装置を用いて体験できます。

ご関心がございましたら、御気軽にRENSまでお問い合わせ下さい。それぞれのテーマには定員がございますので、参加希望者は先着優先と致します。

詳しくは、崇城大学ホームページ(<http://www.sojo-u.ac.jp/>)

→「入試関連」→「高校の先生向け」→「大学見学・出張講義のご案内」まで

お問い合わせ

詳細ならびに最新情報については
ホームページ (<http://www.nano.sojo-u.ac.jp/seminar>) を御覧ください。

企画への参加・応募に関する手続き、各種ご質問に関しましては以下の連絡先に御気軽にお問い合わせ下さい。

崇城大学ナノ領域研究教育推進委員会(RENS) セミナー事務局
崇城大学工学部ナノサイエンス学科 教授 田丸俊一
〒860-0082 熊本市西区池田4-22-1
Tel: 096-326-3111 (代表) Fax: 096-326-3000
E-mail: sojo-rens@nano.sojo-u.ac.jp